

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 1	市民課	広聴グループ

事務事業名	交通安全施設整備事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ハード
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-21-51	交通安全対策の推進	
	関連施策名 (施策コード)	VI-17-36	適正な道路整備及び維持管理の推進	

基本項目	事業内容 (経緯)	市内の市道は狭い道路や見通しの悪い交差点など、通行に危険な箇所が多くあります。そのため交通安全施設に対する要望は毎年多く寄せられているのが現状です。本事業は、その要望に基づきカーブミラー、ガードレール等の交通安全施設を設置するものです。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
		①	設置箇所数	施設の設置を行った箇所数	箇所	H31	R2	R3	21	21
		②								
		③								
	④									
事業対象	道路利用者	成果	令和4年度は21箇所にカーブミラー、ガードレールなどの交通安全施設を設置したことで、交通の安全性を向上させることができ、重大事故の未然防止及び再発防止を図りました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値		
	安全性の向上	安全性が向上したか		H31	R2	R3	○	○		

コスト	関連する予算事業									
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
	11 一般会計	8 土木費	2 道路橋りょう費	2 道路維持費	1998 交通安全施設整備事業	14 交通安全施設設置工事	8,978			
							-			
							-			
	a直接経費合計							8,978		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)
										8,978

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	地区からの要望も多く、市民がより安全に安心して通行できるように整備するものであり、重大な事故を防止するためにも、必要性は高いです。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	重大な交通事故の防止を図り、併せて円滑な道路交通や安全性の向上につながっています。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	現地(道路の線形、状態)を確認した上で、最も効率的かつ効果的に安全を確保できる規格で交通安全施設の設置を行ったり、安全の確保を前提に部品交換などによる対応も行っています。

事業の問題・課題	新規要望が多く、緊急性・優先度が高い箇所以外は、実施するまでに数年かかっています。
具体的な改善案	今後は、緊急性・優先度が低い箇所に関しても、要望が古いものから年に数ヶ所ずつ実施していく必要があります。

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	毎年要望があり、少しでも通行の安全確保及び事故の防止が出来るように施設の設置等続けていきます。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 2	環境課	環境グループ

事務事業名	環境美化活動支援事業		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	ボランティアでゴミ拾いする団体を対象にゴミ袋を無償で配布し、回収されたゴミの収集を行っています。また、自治会等からの申請を受け「ポイ捨て禁止・不法投棄防止」等の看板を無償で交付しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
		①	ボランティア袋配布枚数	ボランティア袋配布枚数	枚	H31	R2	R3	18,240	12,000
		②	クリーンサポーターバッグ配布枚数	クリーンサポーターバッグ配布枚数	枚	102	147	109	100	100
		③	啓発看板配布数	ポイ捨て禁止等啓発看板配布枚数	枚	32	10	53	23	30
	④									
事業対象	市民・自治会・事業者等	成果	新型コロナウイルス感染症に伴う行動自粛が続く中においても環境美化活動団体が継続的に活動されることで、ポイ捨て防止や美化意識の向上が図られ、より暮らしやすい環境が維持できました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値		
	ボランティア清掃実施団体数	ボランティア清掃を実施している団体数	団体	H31	R2	R3	209	220		

コスト	関連する予算事業								
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	4 衛生費	1 保健衛生費	3 環境衛生費	173 環境衛生費	10消耗品費	69		
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	4 減量対策費	181 減量対策費	10消耗品費	237		
							-		
	a直接経費合計						306		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料 ・その他(千円)	一般財源(千円)	306		

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	A	目的が市民ニーズに照らして妥当か A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	美しいまちを維持させるためにも、市民の自主的な環境美化活動は必要不可欠です。市民による活動継続のためには、行政による継続的支援が必要です。
	有効性	A	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	市全体の環境美化につながっています。
	効率性	A	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	ボランティア清掃のごみは、主に家庭ごみの収集時に、まとめて委託業者が収集しており、効率的に処理が行われています。
事業の問題・課題	今後、地区等によるボランティア清掃の参加者減少による活動規模縮小、及び環境美化意識の向上が課題です。			
具体的な改善案	今後も個人や地区、学校等で行われる清掃活動を通じてクリーンサポーター登録を促していきます。併せて継続して市報等による環境美化の啓発をします。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	市民主導の美化活動は、美しいまちづくりのため、必要不可欠です。啓発活動、ボランティア袋等の支援は継続していくことが必要です。
------	---------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 3	環境課	環境グループ

事務事業名	広域ごみ処理事業		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	臼杵地域での可燃ごみ処理を焼却施設のある大分市との協定に基づき竹田市、由布市を含めた4市で広域処理しています。野津地域では、一般廃棄物の全てを豊後大野市との協定に基づき処理しています。また、ごみの減量化に向け、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典等の広報・啓発活動を行いました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
		①	可燃ごみ処理量(臼杵地域)	大分市への可燃ごみ搬入量	t	H31 9,176	R2 9,172	R3 9,058	8,985	9,046
		②	ごみ処理量(野津地域)	豊後大野市へのごみ搬入量	t	1,550	1,610	1,497	1,472	1,569
		③								
	④									
事業対象	市民・事業者	成果	ごみ減量化に対する市民への普及啓発として、臼杵地域では、ごみ収集カレンダーにごみまつわるクイズや情報等を掲載し、意識啓発を図りました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値		
	広域ごみ処理に係る経費	大分市、豊後大野市の清掃工場運営管理費等	千円	H31 216,177	R2 207,320	R3 220,462	240,302	200,000		

コスト	関連する予算事業										
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	2 塵芥処理費	177	塵芥処理費	18負担金補助及び交付金	144,367			
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	2 塵芥処理費	177	塵芥処理費	12委託料	95,935			
								a直接経費合計	240,302		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)		一般財源(千円)
										240,302	

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	衛生的で快適な生活を送るために必要です。
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	適正にごみを処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。
	効率性	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	4R(リフューズ:発生回避、リデュース:減量、リユース:再利用、リサイクル:再資源化)等への意識高揚を促すことでごみの減量が図られ、経費の削減につながると考えます。
事業の問題・課題	ごみを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠です。また、清掃工場の長寿命化のための大規模改修などにより、ごみの減量化が図られたにも関わらず経費が膨らむ可能性もあります。			
具体的な改善案	4Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを推し進めることにより、引き続き啓発に努めます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	ごみを適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 4	環境課	清掃センター

事務事業名	廃棄物処理事業		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	ごみ処理施設の適正な管理運営に努め、処理体制の充実を図り、環境に配慮しながら、ごみ処理施設の長寿命化を図る事業です。併せて各種媒体を通して市民へごみの適正処理について啓発を図るものです。 主な事業費：収集業務委託料89,870千円 施設整備工事費20,311千円								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
		①	ごみ処理量(臼杵地域)	搬入されたごみの量	t	7,343	7,462	7,182	7,065	7,000
		②	最終処分場からの排水の水質	河川へのダイオキシンの排出濃度 (国基準・10pg-TEQ/L 以下)	pg-TEQ/L	0.0000066	0.000016	未検出	未検出	0.00001
		③								
④										
事業対象	臼杵地域の市民、事業者	成果	ごみ処理施設の長寿命化を図ることにより、各種ごみの適正、安全、安定的な処理が可能となり、市民の生活環境の悪化を防ぎ、公衆衛生の向上、住みよいまちづくり、資源の有効活用、環境負荷の軽減に繋がりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値		
	廃棄物処理に関する経費	ごみ収集委託、ごみ処理施設の維持管理費等	千円	195,449	149,410	160,950	162,839	150,000		

コスト	関連する予算事業								
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	2 塵芥処理費	177 塵芥処理費		162,839		
								-	
								-	
a直接経費合計							162,839		
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料 ・その他(千円)	
								一般財源(千円)	
								162,839	

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	普段から一般家庭での環境問題への意識を高めるきっかけとして、ごみの排出量を削減するという目的意識を広く市民への啓発することは意義のあることです。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	ごみ処理量を削減することは資源の有効利用につながり、また最終処分場からの排水の水質を監視し、改善することは自然環境の向上へ資するものです。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	リサイクルを効率的に進めるためには、ごみを排出する側の分別意識の改善や理解、協力が不可欠であり、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典で啓発活動を強化します。
事業の問題・課題	「一般家庭からのごみの排出量」の削減については、市民の身近な、普遍的なテーマとして存在しています。特に、近年では海洋でのプラスチックごみ問題でも取り上げられているように、地球環境の向上のために市民一人ひとりが出来ることが身近にも多くあるということを各種媒体を通じて訴えかけていくことが大切です。			
具体的な改善案	4Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを推し進めることにより、引き続き啓発に努めます。			

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	ごみを適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 5	環境課	環境

事務事業名	し尿処理事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	Ⅶ-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	公共下水道終末処理場の施設を使用して、臼杵地域の汲取りし尿、浄化槽汚泥を共同処理する事業です。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
					H31	R2	R3			
		①	前処理施設処理量	前処理施設へのし尿等搬入量	kℓ	12,564	12,728	12,663	12,804	12,660
		②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
	③									
④										
事業対象	臼杵地域の市民・事業者	成果	設備改良工事により、効果的な施設維持管理が行えるようになったため、し尿処理施設を新設することなく、経費の節減を図ることができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値		
				H31	R2	R3				
	し尿処理事業に係る経費	し尿等前処理施設の運転管理費等	千円	31,988	56,481	39,038	35,984	39,525		

コスト	関連する予算事業								
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	3 し尿処理費	1294 し尿処理費		35,984		
							-		
							-		
	a直接経費合計							35,984	
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	35,984		

評価の視点	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	衛生的で快適な生活を送るために必要です。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	適正に、し尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない	行政資源量に対し合った効果はあるものの、平成17年6月竣工した施設の機能や能力を長期間維持させるために、計画的な修繕等の対応が必要となります。

事業の問題・課題	施設稼働後10年以上経過しており、今後修繕費等経費の増加が懸念されます。
具体的な改善案	必要な修繕を行いながら、効果的な施設維持管理を行います。 長期計画(10年)に基づき今後も全体の事業量を見ながら適切かつ効率的な管理を行います。

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	臼杵地域のし尿等を適正に処理するために、継続する必要があります。
------	---------------	----	----------------------------------

番号	課名	グループ名
B - 6	環境課	環境

事務事業名	広域し尿処理事業		新規・継続	継続
			ソフト・ハード	ソフト
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名(施策コード)			

基本項目	事業内容(経緯)	野津地域のし尿処理事業は、豊後大野市との協定に基づき「白鹿浄化センター(豊後大野市)」で処理しています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
					H31	R2	R3			
		①	し尿処理量	豊後大野市へのし尿搬出量	kℓ	1,835	1,815	1,803	1,907	1,853
		②	前処理施設の稼働率	前処理施設の稼働率	%	100	100	100	100	100
		③								
	④									
	事業対象	野津地域の市民・事業者	成果	主要設備の老朽化等施設維持管理に伴う経費増加が予想される中、可能な限り効率的かつ効果的な事業運営が行えるよう、また、将来的な広域し尿処理の在り方等について豊後大野市と協議・検討を行いました。						
	成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
					H31	R2	R3			
	広域し尿処理に係る経費	豊後大野市の白鹿浄化センター運営管理費等	千円	31,280	21,291	26,084	35,537	27,971		

コスト	関連する予算事業										
	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	3 し尿処理費	1294	し尿処理費	12委託料	35,523			
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	3 し尿処理費	1294	し尿処理費	18負担金及び補助金	14			
								-			
								a直接経費合計	35,537		
	直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)
											35,537

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	衛生的で快適な生活を送るために必要です。
	有効性	A	A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない	適正にし尿を処理することで、衛生的で快適な生活を送ることができます。
	効率性	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない	施設の長期間維持及び更なる経費節減に向けて委託先である豊後大野市と検討を行います。
事業の問題・課題	白鹿浄化センターは平成15年3月より稼働しており、主要設備の老朽化等施設維持管理に伴う経費増加が予想されます。			
具体的な改善案	効率的な運営ができるように、主要設備老朽化等の施設改修及び監理体制等について引き続き豊後大野市と協議・検討を行います。			

課長評価	見直し(縮小、休止、廃止)を検討する(見直し)	理由	将来の広域し尿処理については、豊後大野市との協議及び検討が必要です。
------	-------------------------	----	------------------------------------

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 7	環境課	清掃センター

事務事業名	各種リサイクル事業		新規・継続 ソフト・ハード	継続 ソフト
総合計画との関連	主要施策名 (施策コード)	VII-20-46	ごみの適正処理・減量化の推進	
	関連施策名 (施策コード)			

基本項目	事業内容 (経緯)	各種リサイクル法に基づき、ごみの減量化とリサイクルを推進しています。各品目ごとにリサイクル業者への委託による処理、再生処理業者への引き渡し、資源として売却等の処理をしています。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値	
		①	資源化量(プラスチック製容器包装・ペットボトル選別圧縮保管)	処理業者引渡量	t	H31 224	R2 205	R3 203	190	220
		②	資源化量(紙類・缶及びその他金属選別圧縮・自転車)	資源売却量	t	873	796	720	631	800
		③	資源化量(ガラス瓶・蛍光管・乾電池・電気製品)	資源化処理業者引渡量	t	191	220	204	279	250
④	有価ごみ売却収入	有価ごみを資源として業者に売却する金額	千円	17,374	15,364	25,195	29,500	29,000		
事業対象	臼杵地域の市民	成果	排出されるごみに応じて適正なりサイクル処理の推進を図ることで、資源の循環利用、限りある天然資源の消費抑制、地球温暖化防止等の環境の保全に繋がりました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値		
	資源化率	資源化量／ごみ搬入量	%	H31 13	R2 11	R3 11	11	12		

関連する予算事業									
コスト	会計	款	項	目	事業		節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	4 減量対策費	181	減量対策費	13委託料(246,250,805)	29,918	
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	4 減量対策費	181	減量対策費	13委託料(249,251)	24,856	
	11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	4 減量対策費	181	減量対策費	13委託料(236,242,243,1032)	9,942	
							a直接経費合計	64,716	
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)
									64,716

評価の視点	評価	判断基準		理由	
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない		ごみとして排出されるものの多くは再利用することが可能であるので、それを知って頂くことは大切です。
		有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない		リサイクルを効率的に進めるためには、ごみを排出する側の分別意識の高揚や理解、協力が不可欠であり、啓発活動を強化することが必要です。
事業の問題・課題		近年ごみの資源化率が減少傾向にあります。限りある資源を次の世代に引き継ぐためにも家庭のごみについて適切に分別し、資源として再利用するということを市報などの媒体を活用して啓発活動を強化することが大切です。			
具体的な改善案	4Rや分別意識の高揚による経費削減を図るため、市報やごみ収集カレンダー、ごみ分別事典での広報に加えて、学校での環境教育や臼杵市清掃センターの見学などを推し進めることにより、引き続き啓発に努めます。				

課長評価	現状のまま継続する(継続)	理由	資源の有効利用や地球環境の保全を目的とした事業であり、継続して取り組むことが必要です。
------	---------------	----	---

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 8	環境課	環境グループ

事務事業名	清掃センター周辺環境整備事業	新規・継続	継続
		ソフト・ハード	ハード

総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	I-1-1	生涯を通じた健康な生活習慣の推進
	関連施策名(施策コード)	I-3-6	高齢者の生きがいづくりへの支援
		V-13-29	スポーツで健康づくり・体力づくり

事業内容(経緯)
平成16年に閉鎖された旧不燃物最終処分場については、地元(久木小野)との契約(「新臼杵市不燃物処理センター(仮称)設置に関する基本契約書」)により「閉鎖後の跡地利用については多目的広場及び公園等として整備を行うとともに、施設周辺の環境整備を行う。」と定められており、これに基づき令和2年1月、地元より正式に「パークゴルフ場の整備」について要望が提出されました。この要望を受け、市において検討の結果、跡地利用については、地元との約束を履行しつつ、市民の健康づくり、高齢者の生きがいづくり、地域の活力創生等に資する施設としてパークゴルフ場を整備することとしました。令和4年度は、造成工事等設計委託、開発行為申請並びに形質変更(廃掃法・土対法に基づくもの)の届出、造成工事並びに給水施設工事を行いました。造成工事については2カ年工事の半分(地下排水溝)まで施工完了しました。

基本項目	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値
					H31	R2	R3		
	①	パークゴルフ場整備費用	各種届出資料作成委託、工事費用	千円	-	2,310	14,676	102,508	-
	②	運営及び利活用に関する協議	地元及び愛好者団体、関係団体との協議	回	-	3	4	6	5

事業対象
市民
成果
整備関連については、本体工事の設計、開発行為申請並びに形質変更の届出、造成工事及び給水施設工事を行いました。運営に係る関係各所との協議は、主に工事関係と愛好者団体(パークゴルフ協会(仮))関係について計6回行いました。

成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4 実績値	R6 計画値
				H31	R2	R3		
	パークゴルフ場整備進捗率	令和6年度の供用開始に向けた進捗率(R4末時点進捗月数/全工程月数)	%	-	10	38.46	60	100

関連する予算事業									
会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標		
11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	1 清掃総務費	176 清掃総務費	12.造成工事等設計委託(繰越)	34,392	①		
11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	1 清掃総務費	176 清掃総務費	12.看板作成委託(事前告知用)	490	①		
11 一般会計	4 衛生費	2 清掃費	1 清掃総務費	176 清掃総務費	14.施設整備工事(造成工、給水設備工)	66,778	①		
a直接経費合計						102,508			
直接経費財源内訳				国庫補助金(千円)	県補助金(千円)	市債(千円)	使用料・手数料・その他(千円)	一般財源(千円)	
						97,300		5,208	

評価の視点	評価		判断基準		理由
	必要性	A	目的が市民ニーズに照らして妥当か		
			A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	「健康寿命を延ばすための取り組み」を主な目的に、「市民の健康づくり」「高齢者の生きがいづくり」「スポーツ振興」「コミュニティづくり」に資する施設となり得ます。	
有効性	A	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか		パークゴルフを通して、健康づくり、生きがいづくり等を推進することによって、市民の健康寿命を延ばすことに繋がると考えます。	
		A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない			
効率性	B	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか		長年の地元との約束の履行という側面を持つ施設の整備であるため、コスト効率のみで計ることのできる性質の事業ではありませんが、パークゴルフ場としてだけでなく、市民の健康増進や生きがいづくり等、他の施策とタイアップすることにより相乗効果が期待できます。	
		A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ていない			

事業の問題・課題
より多くの方に利用してもらうにはどうすればよいかという点が最も大きな課題と捉えており、運用開始前よりそのための取り組みが重要であると考えています。また本施設は比較的交通の便が良くない立地なので、高齢者の利用促進についても課題と捉えています。

具体的な改善案
愛好者団体等、関係団体との連携を軸に愛好者を増やす仕組みを作ります。

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	旧不燃物最終処分場の跡地利用については地元との長年の懸案事項であり、早急に契約を履行する必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 9	部落差別解消推進・人権啓発課	部落差別解消推進・人権啓発・男女共同参画グループ

事務事業名		男女共同参画推進事業						新規・継続	継続	
								ソフト・ハード	ソフト	
総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚							
	関連施策名(施策コード)	VII-21-53	虐待(DV・子ども・高齢者・障がい者)予防・対策							
基本項目	事業内容(経緯)	男女共同参画の推進のため、講演会やセミナー、パープルリボン(女性に対する暴力をなくす運動)等の各種啓発事業、方針決定の場合の女性登用率の向上やDV相談対応等に取り組みました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4	R6	
						H31	R2	R3	実績値	計画値
		①	推進懇話会実施回数	推進懇話会の開催回数	回	4	3	3	3	4
		②	男女共同参画研修会 回数	研修会開催実数	回	3	3	3	3	3
③	審議会等における女性の登用	女性委員/全審議会委員	%	33.6	31.8	29.4	33.6	40		
④	男女共同参画セミナー回数	セミナー開催実数	回	4	4	3	4	4		
事業対象	市民、団体、事業所	成果	6月の男女共同参画講演会では、新型コロナウイルス感染症対策のため会場内の人数を制限して実施し、後日ケーブルテレビで放送することで広く市民に啓発しました。セミナーでは男性の参加者を増やすことができました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4	R6		
					H31	R2	R3	実績値	計画値	
		男女共同参画講演会の参加者数	講演会の参加人数	人	955	中止	中止	263	800	

コスト	関連する予算事業												
	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標					
	11	一般会計	2	総務費	1	総務管理費	1	一般管理費	416	男女共同参画推進費		1,397	
												-	
												-	
								a直接経費合計	1,397				
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)		一般財源(千円)			
										1,397			

評価の視点	評価	判断基準		理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か	市民意識調査では、社会や生活の中で「男性の方が優遇されている」と感じている方の割合が依然として多く、男女共同参画に対する市民の意識を高める必要があるため、引き続き男女共同参画社会づくりの推進活動である本事業が必要と考えます。	
		A	A:適応している B:一部適応していない C:適応していない	
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか	「男女共同参画社会づくりのための意識調査(2020年度実施)」においても各種数値は、前回調査から改善はみられるものの劇的な効果はでていないため、継続した啓発が必要です。	
B		A:期待したとおりの効果がある B:期待したほどの効果が見られない C:効果が少ない		
効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか	セミナーや講演会、街頭啓発活動など様々な機会を利用して市民への啓発活動を行う必要があります。		
	B	A:効率的に効果が出ている B:改善の余地がややある C:効率的に効果が出ていない		
事業の問題・課題	新型コロナウイルス感染症の蔓延も3年目となり、従来の啓発手法も制限されてきました。しかし、新年度からは新型コロナウイルスの扱いも「5類」に引き下げられる方向です。従来の手法も再開しつつ、新しい手法も活用して、市民への啓発を積極的に開始する必要があります。また、幼児教育の段階から発達に応じた教育の充実による意識の醸成が重要です。			
具体的な改善案	男女共同参画の推進は、幼児教育の段階から発達に応じた教育の充実や家庭教育による意識の醸成が重要です。また、男女共同参画講演会は多数の市民に同時に同質の啓発を行えるため、継続して進めるべき施策です。基本計画及び実施計画に従って施策を進めていきます。			

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	男女共同参画社会の実現は女性も男性も自分らしく生きていくための基盤となります。長引くコロナ下で生活環境も変容していますが、啓発を継続していく必要があります。
------	------------------------	----	--

臼杵市 事務事業評価シート
(令和4年度)

番号	課名	グループ名
B - 10	部落差別解消推進・人権啓発課	部落差別解消推進・人権啓発・男女共同参画グループ

事務事業名	人権・部落差別問題啓発事業		新規・継続	新規
			ソフト・ハード	ソフト

総合計画との関連	主要施策名(施策コード)	V-16-35	同和問題(部落差別問題)に対する正しい理解
	関連施策名(施策コード)	V-16-34	人権意識の高揚

基本項目	事業内容(経緯)	家庭・地域・学校・職場などのあらゆる場や、大規模講演会、企業・団体・地域などへの研修、企業啓発訪問などの機会を通じて、部落差別問題をはじめとする人権問題・差別解消に向けた啓発事業を実施しました。また、各種事業は新型コロナウイルス感染症に配慮した形で実施しました。								
	行動指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4実績値	R6計画値	
		①	人権・部落差別問題講演会(8月)の参加者	人権・同和問題講演会参加人員数	人	H31	R2	R3	311	800
		②	人権問題講演会(12月)の参加者	人権問題講演会参加人員数	人	774	0	300	364	800
		③	企業・団体研修会	企業・団体研修会実施回数	回	48	12	30	28	50
④	企業・公共機関啓発の訪問数	企業・公共機関啓発訪問数	社	66	73	71	73	60		
事業対象	市民、団体、事業所	成果	新型コロナウイルス感染症対策に留意し、8月と12月の講演会は市民会館の入場者数を制限して開催し、その内容をケーブルテレビに昼夜2回放送し、広く市民へ啓発を行いました。企業訪問は、令和4年度も感染症対策の為、訪問予定企業へ郵送で啓発物品などを送付しました。							
成果指標	指標名	説明・算式・引用	単位	実績の推移			R4実績値	R6計画値		
	啓発事業(講演会)の参加者	参加人員数 今年度は8月と12月の講演会の入場者数を制限した代わりに、ケーブルテレビを利用して、全市民向けに放送を行いました。	人	H31	R2	R3	675	1,600		

関連する予算事業									
コスト	会計	款	項	目	事業	節(または説明)	事業費(千円)	関連する行動指標	
	11 一般会計	3 民生費	1 社会福祉費	8 人権啓発推進費	183 人権啓発推進事業		6,139		
							-		
							-		
	a直接経費合計							6,139	
直接経費財源内訳		国庫補助金(千円)		県補助金(千円)		市債(千円)		使用料・手数料・その他(千円)	
				606				5,533	

評価の視点	評価	判断基準	理由
	必要性	目的が市民ニーズに照らして妥当か A: 適応している B: 一部適応していない C: 適応していない	部落差別解消推進法をはじめとする人権3法が施行され6年がたちますが、社会には様々な人権課題が存在し、社会の変化に伴い差別の環境も変化しています。このため、市民に対して、継続的な啓発を続ける必要があります。
	有効性	目的や目標に照らして予想される効果が得られるか A: 期待したとおりの効果がある B: 期待したほどの効果が見られない C: 効果が少ない	新型コロナ下での生活も3年目となり、市民に対する啓発も制限される状況ですが、企業啓発訪問を郵送で行ったり、講演会の内容をケーブルテレビで放送するなどし、啓発手法を工夫することで、市民の人権意識の高揚を図りました。
	効率性	行政資源量(特にコスト)に対し合った効果があるか A: 効率的に効果が出ている B: 改善の余地がややある C: 効率的に効果が出ない	講演会の内容をケーブルテレビで放送したり、啓発チラシを全戸に配布するなどしました。また、他事業のイベント時にもチラシを配布するなどにより、広く市民へ啓発をしました。
事業の問題・課題	新型コロナウイルス感染症の蔓延も3年目となり、従来の啓発手法も制限されてきました。しかし、新年度からは新型コロナウイルスの扱いも「5類」に引き下げられる方向です。従来の手法も再開しつつ、新しい手法も活用して、市民への啓発を積極的に開始する必要があります。		
具体的な改善案	従来の「直接会って行う啓発」を再開し、市民の人権意識の高揚を図ります。また、コロナ下で始めた講演会内容のケーブルテレビ放送など継続し、広く市民へ啓発効果が届くような様々な手法を活用し啓発を進めます。		

課長評価	重点事業であり、引き続き継続する(重点継続)	理由	啓発事業は地道に継続することが重要です。インターネット上の人権問題や性的少数者の人権問題など社会の変化に伴い人権課題も変化してきています。その時々に合わせて啓発が必要です。
------	------------------------	----	--